

平成25年度事業計画書

公益財団法人 日本都市センター

事業の概要

都市をとりまく状況を踏まえ、①地方分権改革の推進、②都市自治体行政の専門性の向上、③住民と行政の協働、の3つを中期的なテーマに掲げて事業を展開する。

平成25年度においては、地方自治をめぐる諸状況や全国の都市自治体の政策ニーズを踏まえ、地方自治制度、都市政策、行政経営等都市に関する事業を実施する。

第一に、調査研究事業として、全国市長会と共同設置している第3期都市分権政策センターにおいて「広域自治体のあり方と都市自治体に関する調査研究」、「基礎自治体の総合的国際比較」、「国のかたちとコミュニティを考える市長の会」、「分権型社会を支える地域経済財政システム研究会」、「英国の地方自治制度とその運用についての調査研究」を実施するとともに、独自事業として「都市自治体行政の専門性に関する調査研究（生活保護・生活困窮者対策）」、「地域再生・コミュニティに関する調査研究」、「被災自治体における住民の意思反映に関する調査研究」、「都市自治体における風評被害への対応に関する調査研究」、「都市自治体のファシリティマネジメントに関する調査研究」、「関西方面の学識者と実務家との研究交流会」を実施する。

第二に、研修事業として、直面する政策課題について、全国市長会等と「全国都市問題会議」及び「市長フォーラム」を共催するとともに、独自に「都市経営セミナー」及び「都市政策研究交流会」を開催する。

第三に、情報提供事業その他として、機関誌『都市とガバナンス』、調査研究事業の成果や研修事業の結果を取りまとめた報告書等の発行、都市調査研究グランプリの表彰を行うとともに、ホームページやメールマガジンを活用して全国の都市自治体に役立つ情報を随時提供する。

なお、事業費支出総額は、135,048千円である。

1 調査研究事業

① 都市分権政策センター

平成19年1月に全国市長会と当財団が共同設置した「都市分権政策センター」については、第1期（平成19年1月～平成22年3月）、第2期（平成22年4月～平成24年3月）に引き続き、平成24年4月に第3期の「都市分権政策センター」を設置し、活動を継続してきたところである。

この間、国では二度にわたり政権交代が行われ、それに伴い地方分権改革に関する枠組みも変わってきている。このような状況下において真の地方分権改革を実現するためには、全国の都市自治体のために共同組織として同センターを置き、地方分権に係る共通の課題等に対する調査研究を進めることが有効と考えられる。

第3期の2年目にあたる平成25年度は、以下のように調査研究等を行う。

(ア)総括方針

第3期「都市分権政策センター」は、基礎自治体を重視した真の地方分権改革の実現に向け、都市自治体の立場を明確にしながら、さまざまな観点から地方分権に資する政策提言を行い、分権型社会における都市自治体経営の確立及び都市自治体の政策開発・立案機能の一層の充実を図る。

(イ)広域自治体のあり方と都市自治制度に関する調査研究

政府が推進する地方分権改革について都市自治体の観点から各種の制度改革を検討するため平成22年4月に設置した「都市自治制度研究会」において、広域自治体のあり方と都市自治体との関係等に関する検討を行う。

(ウ)基礎自治体の総合的国際比較

わが国にとって地方制度面で参考となる諸外国における政府階層のあり方及び基礎自治体の制度・実情について引き続き体系的に把握・比較する。

(エ)国のかたちとコミュニティを考える市長の会

市長・区長有志が自由に参画し、都市自治体の直面する政策課題について自由闊達に議論することによって情報交換及び交流を図り、今後の政策のあり方を研究する。市長及び学識者等による会議を年2回開催する（5月、11月を予定）。

(オ)分権型社会を支える地域経済財政システム研究会

都市をとりまく状況を踏まえ、都市自治体の税財政及び地域経済に関するテーマを選定し、学識者と実務家による研究会で検討を深める。

(カ)英国の地方自治制度とその運用についての調査研究

英国における国と地方の協議の運用の実態、地方制度改革の実態とその評価等に関する調査研究について、平成23～24年度に引き続き有識者の協力を得て調査研究を実施する。

② 都市自治体行政の専門性に関する調査研究（生活保護・生活困窮者対策）

住民ニーズの複雑・高度化や地方分権の進展等により、都市自治体行政に専門性が強く求められるようになってきたことを踏まえ、平成22年度から具体的な行政分野における専門性についての調査研究を進めている。平成22年度以降順次、児童相談、徴税、広報をテーマに調査研究を行ってきたところであるが、平成25年度においては生活保護・生活困窮者対策を取り上げて調査研究を実施する。

③ 地域再生・コミュニティに関する調査研究

都市周辺部における人口減少・高齢化によるコミュニティの弱体化、都市中心部における孤独死など、都市自治体のコミュニティを巡る多様な課題について、人のつながりを重視して地域再生を図る「コミュニティ・デザイン」の手法に着目して調査研究を実施する。

④ 被災自治体における住民の意思反映に関する調査研究

東日本大震災の被災自治体においては、多くの住民が他の自治体への避難、転居を余儀なくされている。復興施策の推進には住民意思の反映が不可欠であるが、そのような他の自治体に避難している住民については、法令上・事実上の側面から、その意思をどのようにして捉え、どのような手続で把握し政策決定に反映させていくかが重要な課題である。

これらの課題について検討するため、平成 24 年度に引き続き調査研究を実施する。

⑤ 都市自治体における風評被害への対応に関する調査研究

東日本大震災では、主に原発事故による「風評被害」が、被災地のみならず周辺地域も含めた幅広い地域で発生している。このような風評被害に見舞われた場合にどのように対応するのが効果的か、東日本大震災以外の災害等の場合も含め、情報発信のあり方等を中心にその対応策を検討する。

⑥ 都市自治体におけるファシリティマネジメントに関する調査研究

老朽化が進む公共施設・インフラの維持管理や、市町村合併や人口減少によって増加した遊休施設の利活用は、早急に取り組むべき課題である。

このような状況を鑑み、国の検討状況等も注視しつつ、公有資産（土地、建物、設備）の状況を正確に把握・分析の上、より効率・効果的な利用を図り、良質なストックとして活用しようとする「ファシリティマネジメント」についての調査研究を行う。

⑦ 関西方面の学識者と実務家との研究交流会

関西地域及びその周辺に在住または勤務する学識者及び自治体の実務家が、地方自治・都市政策等をめぐる様々なテーマについて自由に議論し、相互の問題意識の深化と情報交流を図ることのできる場を引き続き設ける。

2 研修事業

① 第 75 回全国都市問題会議の共催

全国市長会、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所及び開催都市（大分市）と共同して、全国の市長など幅広い都市自治体関係者が参加する全国都市問題会議を 10 月に開催する。

② 第13回市長フォーラムの共催

全国の都市自治体が直面する課題に関する問題意識を共有し、その深化を図るため、全国市長会と共同して、全国の市長など都市自治体関係者を対象に、市長と学識経験者などによるパネルディスカッション方式等のフォーラムを11月に開催する。

③ 第15回都市経営セミナーの開催

都市自治体における都市政策・行政経営等の発展に資するため、全国の市長、議員、職員など都市自治体関係者を対象に、都市をとりまく状況を踏まえたアドホックなテーマにより、セミナーを7月に開催する。

④ 第14回・第15回都市政策研究交流会の開催

都市自治体の企画担当者、都市シンクタンクの研究員等が一堂に会して、都市が直面する課題や都市政策について情報交換、意見交換を行い、その解決の諸方策を議論するため、企画担当者等による報告を中心とする第14回交流会を8月に開催し、都市シンクタンク研究員等による報告を中心とする第15回交流会を10月に開催する。

3 情報提供事業その他

① 機関誌『都市とガバナンス』第20号及び第21号の発行

機関誌『都市とガバナンス』を年2回（9月、3月）発行し、全国の都市自治体、関係団体等に配付する。

② 報告書及びブックレットの発行

各調査研究事業の成果や研修事業の結果を随時報告書又はブックレットとして取りまとめ、全国の都市自治体等に配付する。

③ 都市自治体の調査研究活動に対する情報提供

都市自治体及び都市シンクタンクの調査研究活動の実態、傾向並びに課題等を調査し、機関誌やホームページへの掲載等によりその情報を広く提供する。

④ 第4回都市調査研究グランプリ（CR-1グランプリ）の表彰

全国の都市自治体及び都市自治体職員が自主的に行った調査研究事例を募集し、優れた調査研究を表彰するとともに、機関誌やホームページ等で広く周知する。

⑤ ホームページによる情報発信

各調査研究事業や研修事業の実施状況等について随時ホームページに掲載するとともに、機関誌・報告書・ブックレット等の刊行物についても刊行後速やかにホームページにて全文を公開する。

⑥ メールマガジンによる情報発信

全国の都市自治体、関係団体、研究者等を対象にメールマガジンを月1回程度発行し、当財団の主催行事・出版物・調査研究事業の紹介のほか、都市自治体及び都市シンクタンクの本主催行事や調査研究事業の紹介、都市自治体の先進事例等に関する情報提供を行う。